

平成29年度事業報告書

認定NPO法人TSUBASA

1 事業の成果

平成29年度に力を入れて取り組みたい事業は次の通りでした。

- ① 「バードライフアドバイザー認定講座（以後BLA）」の拡大
- ② 里親会に力を注ぐ
- ③ 愛鳥祭のさらなる飛躍
- ④ 鳥の勉強を初めてする方向けの勉強会啓発活動

【成果】

- ① バードライフアドバイザー認定講座を広く一般に広げる事を目指し、全国で企画開催を行いました。
多くの地域からのご要望をいただき、また地域ごとに会場探しなど多くの皆さまが協力してくださり全国16都市での開催を実現しました。そのうち、広島県、新潟県、石川県、青森県、兵庫県は2017年が初開催地となります。
- ② 本年は、これまで10年単位で施設の中で暮らしていた鳥達に里親が決まることが多い一年となりました。またお子様連れや、初めて鳥を飼う場としてレスキュー団体を視野に入れている方が明らかに増えていることを強く感じ啓発普及が、広く一般に届き始めていることを感じています。
- ③ 今年で2回目の開催となる愛鳥祭は、前年以上の動員数を達成いたしました。
(2016年 約800名来場・2017年 約1100名来場)
また、初の浅草開催ということもありこれまでになかった客層やTSUBASAを初めて知る方々への周知の一環になりました
- ④ 酉年ということもあり、一般向けのカルチャーセンターからの講演の依頼が多い年となりました。BLA・愛鳥祭に加え積極的にこれらを受け入れることで、普段鳥の勉強をしていない方にも、鳥との暮らしを考えるきっかけを提供できたのではないかと考えています。

2 事業の実施に関する事項（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
--------	------	------	------	--------	--------------	---------

(1) 鳥類適正飼養に関する教育啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> ・愛鳥塾 ・愛鳥祭 ・同鳥会 ・バスツアー ・セミナー・フォーラム・シンポジウム ・バードライフアドバイザー認定講座3級、2級 ・スキルアップセミナー ・リーフレット設置、季刊誌の作成等 ・バードラン ・カルチャーセンター 	通年	埼玉県新座市及び全国	5名	全国の愛鳥家・動物保護に関心を持つ方	3000名	6,192
(2) 鳥類の保護事業	<ul style="list-style-type: none"> ・里親会(MTB)開催 ・レスキュー引き取り事業 	1月から12月まで定期開催	埼玉県新座市	3名	全国の愛鳥家	310名	19,298
(3) 鳥類飼育、公衆衛生に関する出版物刊行事業	飼鳥のペレット読本 鳥種別リーフレット	通年	埼玉県新座市	4名	獣医師他	1200名	307
(4) 鳥類の飼養・疾病・食餌に関する調査・研究・開発事業	健康管理に係る食餌、気温の調査	毎日	埼玉県新座市	5名	全国の愛鳥家	—	2
(5) 青少年に対する動物愛護精神啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生の受け入れ ・特別授業 	随時	埼玉県新座市	5名	学生一般	200名	—
(6) 国内外に於いて鳥類のおかれている環境の現況視察事業	H29年度は活動実績なし	—	—	—	—	—	—
(7) ペット用品、飼料及び装身具の売買、製造、及び輸出入業務	鳥の餌 おもちゃなどの販売	随時	埼玉県新座市	4名	施設来訪者	700名	1,309
(8) 動物病院施設及び動物宿泊施設の経営	H29年度は活動実績なし	—	—	—	—	—	—
(9) ペットに係る飼養・食餌以外の物品販売業	<ul style="list-style-type: none"> ・書籍 ・カレンダー ・コーズリボンなど 	随時	埼玉県新座市	4名	施設来訪者	160名	201

(2) その他の事業 なし

3 各事業の活動内容等

(1) 事業名 鳥類の適正飼養に関する教育啓蒙事業

1：愛鳥祭

日時：2017年6月19日

場所：東京都浅草

ボランティア参加 33名

ご来場者数 約1100名

内容：

- ・セミナー（タイトル）

「なぜヨウムは急増するのか」

「TSUBASA鳥の病気白書」

「バーチャルMTB」

「いやと言えぬ関係で、もっと仲良しに」

- ・クリエイター雑貨即売会

13組の企業、44組のクリエイターの雑貨の展示即売会

- ・ふれあい愛鳥塾

鳥との関わり方、接し方を実際の鳥達に協力してもらいながら学べる体験コーナー

- ・鳥さん相談コーナー

飼育のプロ並びに行動学のプロによる、飼い方の無料相談ブース



2：バードライフアドバイザー3級認定講座

開催地、開催日

東京：3/26、11/26、12/23 神奈川：2/11、3/20

広島：1/15 福岡：3/12、12/17、11/18 新潟：3/18

金沢：4/23 青森：6/4 北海道：8/27、12/2

兵庫：9/9 大阪：9/10、10/1 愛知：10/14 仙台：11/12

合計 19回 受講者 748名

担当 松本（NPO法人TSUBASA代表理事）

内容 日本で唯一の飼い鳥に限定した認定講座である

「バードライフアドバイザー認定講座」を開催し、

愛鳥家に3級のテーマ「鳥と私が幸せになる」ための講義を通して、TSUBASAの活動や考え方をお伝えしました。



3：バードライフアドバイザー2級認定講座

開催地、開催日（講座受講は1度の受講で2日連続講義）

愛媛：1/8・1/9 大阪：4/8・4/9 東京：5/27・5/28

福岡：7/16/・7/17、札幌：9/17・9/18・12/3

合計 5回開催（11日間）※北海道は天候不順により補講あり

受講者 175名

担当 松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、塩谷（副代表理事）、木村（理事）

講師 眞田先生（小鳥の病院BIRDHOUSE、CBL）、石綿様（ALETTA代表）

羽多野先生（TSUBASA獣医師）

内容 日本で唯一の飼い鳥に限定した認定講座である

「バードライフアドバイザー認定講座」を開催し、愛鳥家に

2級のテーマ「鳥と私と貴方が幸せになる」ための講義を通して、TSUBASAの

活動と3級より掘り下げた内容を専門講師と共にお伝えしました。

4：BLA2級スキルアップセミナー

開催地：東京、大阪、仙台、札幌、名古屋、奈良、福岡

合計 19回開催 担当 松本（NPO法人TSUBASA代表理事）

内容 BLAの2級を取得済みの方が対象になるセミナー。日々更新される鳥達の飼育の最新情報を常に取り入れる事を目的としています。

2級は更新制で、BLAポイント対象のセミナー等のイベントに

3年間で20ポイント分、参加する必要があります。スキルアップセミナーは、ポイントが取得できる対象となります。

5：カルチャーセンターセミナー

開催地：大阪、東京、愛知、奈良

合計 7回開催 担当 松本（NPO法人TSUBASA代表理事）

内容 各地のカルチャーセンターからの依頼で、「コンパニオンバード入門」というテーマで講演を行いました。

6：その他勉強会等イベントの開催

上記以外でも、以下のイベントに主催あるいは参加しました。（時系列）

「鳥類臨床研究大会」出展（2回）

「第12回TSUBASAセミナー」主催

「名古屋トリコレ」出展、講演

「セミナー フロリダ滞在記～動物トレーニングの今～」主催（2回）

「愛鳥のための手づくりごはんを深く知る」主催

「第66回愛鳥塾 大型鳥との暮らして知っておきたいこと」

「ご褒美作りワークショップ」主催（3回）

「動物慰霊祭」主催

「ミニ愛鳥塾3本立て」主催

「親子で作るおもちゃ作り教室」主催

「同鳥会 オカメン舞踏会」主催

「プラケ・ケージ相談会」主催

「行動理解ワークショップ」主催

「第13回TSUBASAセミナー」主催」

「ジャパンバードフェスティバル(JBF)」出展

「ヤマザキ学園絆祭」出展

「個人主催 同鳥会セキセイインコ会」とり村開催

「個人主催 同鳥会ももいろ祭」とり村開催

「個人主催 同鳥会マコウミーティング」とり村開催

(2) 事業名 鳥の保護事業

保護するだけにとどまらず、新しい里親を探す活動も含まれます。

1：TSUBASAで暮らす鳥の里親探し

・里親が決まった数：計36羽

内訳：文鳥（2羽）/セキセイ（14羽）/オカメインコ（2羽）/マメルリハ（2羽）

サザナミ (3羽) / ボタン (1羽) ウロコインコ (1羽) / メキシコインコ (2羽)
ワカケホンセイインコ (2羽) / オキナインコ (2羽) / オオハナインコ (1羽)
ボウシインコ (1羽) / キバタン (1羽) / コバタン (1羽) /
タイハクオウム (1羽)
このうち、6羽が10年以上をT S U B A S Aで過ごした鳥達です。

・鳥の里親会 (MTB:Meet the bird) 開催

普段、施設で暮らす鳥達の里親会。毎月開催を目標としています。

里親会参加者数：約200名

開催日：1/29. 2/26. 3/19. 4/29. 5/7. 5/20. 6/11. 7/29. 8/27. 9/30. 10/29. 11/25.

・小型鳥の里親会 (S-MTB)

通常の物とは異なる、中小型の鳥を専門とした里親会の開催。

開催日：10/14

2：外部からの鳥の引き取り：20件、37羽の鳥を引き取りました。

内訳：1件2羽は、飼い主様緊急入院によるレスキューにより。

(レスキュー：飼い主不在/事前健康診断ができない/書類が出せない/緊急性が高い)

10件15羽は、高齢者の飼育困難、死亡により。

3件8羽は、家庭都合(引っ越し、飼育放棄)により。

5件11羽は、高齢ではない飼い主の病気により。

1件1羽は、鳥の問題行動により。

3：鳥のお世話に関するボランティア

日時：毎日 9:00～17:00 (時間はボランティア様選択制)

延べ人数：計995人

(3) 鳥類飼育、公衆衛生に関する出版物刊行事業

1：鳥類獣医師の集まりである「鳥類臨床研究会」にて作られた情報をもとに、鳥の種類別のリーフレットを作成販売しました。2017年は獣医師のみが、対象の販売となりました。

2：飼鳥のペレット読本

小鳥の病院BIRDHOUSE院長眞田直子先生に執筆していただき、書籍の製作販売を行いました。愛鳥家の方はもちろんのこと、獣医師の集まるイベントなどでの販売も行いました。

(4) 鳥類の飼養・疾病・食餌に関する調査研究、開発事業

毎日の施設の鳥達の健康管理を通して、飲水量、糞便検査、血液検査、気温の変動による体調の変化などをチェック。これらを愛鳥家の方々に愛鳥塾やブログにフィードバックし、よりよい適切な飼育環境を目指し、調査を実施。また、飼い鳥のためのよりよいケージ開発を目指す獣医師の試作ケージを鳥達に使用し、改善希望点などを伝えました。

(5) 青少年に対する動物愛護精神啓蒙活動

日本で唯一の認定NPO法人として活動する飼い鳥の保護施設である当団体には、学校からの依頼により実習生を随時受け入れ、保護施設の清掃をはじめ飼い鳥との接し方、保定、治療や看護について、実践的な学びの場を提供している。

【平成 29 年度研修の受け入れ並びに、講義を行った学校】
東京コミュニティー・ジョンアート専門学校・大宮国際専門学校
武蔵大学・光が丘第二中学校

- (6) 国内外に於いて鳥類のおかれている環境の現況視察事業
平成 29 年度は実績なし
- (7) ペット用品、飼料及び装身具の売買、製造、及び輸出入業務
鳥のための用品（ケージ、餌、おもちゃ等）が該当します。
鳥たちと愛鳥家の皆様のためにお勧めできる餌、おもちゃなどの販売を
実施しました。また、時間のあるお客様にはご注文いただいた商品の取り寄せ
販売も実施いたしました。
- (8) 動物病院施設及び動物宿泊施設の経営
→平成 29 年度は実績なし
- (9) ペットに係る飼養・食餌以外の物品販売業
鳥を飼う方向けの用品（飼育書等）が該当します。
TSUBASAを広く普及するための雑貨（コースブリボン）、カレンダー、
書籍の販売 「ハナより」等。

4 各種メディアでの活動内容の報道実績について

- (1) コンパニオンバードNo. 27、No. 28

5 会員数、寄附者、ボランティアなど

正会員	:	316 人
賛助会員	:	219 人
法人会員	:	0 団体
名誉会員	:	19 人
寄附者	:	延べ 388 人
鳥のスポンサー	:	延べ 154 人
鳥のお世話に関するボランティア	:	延べ人数 : 計 995 人
プロボラなど	:	2 名

また、募金箱への募金、支援物資の提供（ウィッシュリスト含む）、
古本の提供（きしゃぼん）、支援の羽の提供、募金箱の設置、リーフレットの設置、鳥
鳥達のおもちゃ作り、支援を目的としたイベントの開催、動物愛護イベント等での
啓発発動、SNS 等による PR など、様々な形でご支援を頂きました。

6 寄附金の支出

- (1) アフリカの現地でヨウムの密猟を食い止める活動をしている、西原智昭様の所属する
「アフリカ日本協議会」への支援として、愛鳥祭の収益の一部とTSUBASAセミナーの
収益の一部を寄附金として支出しました。

・寄附金額：136,500 円